

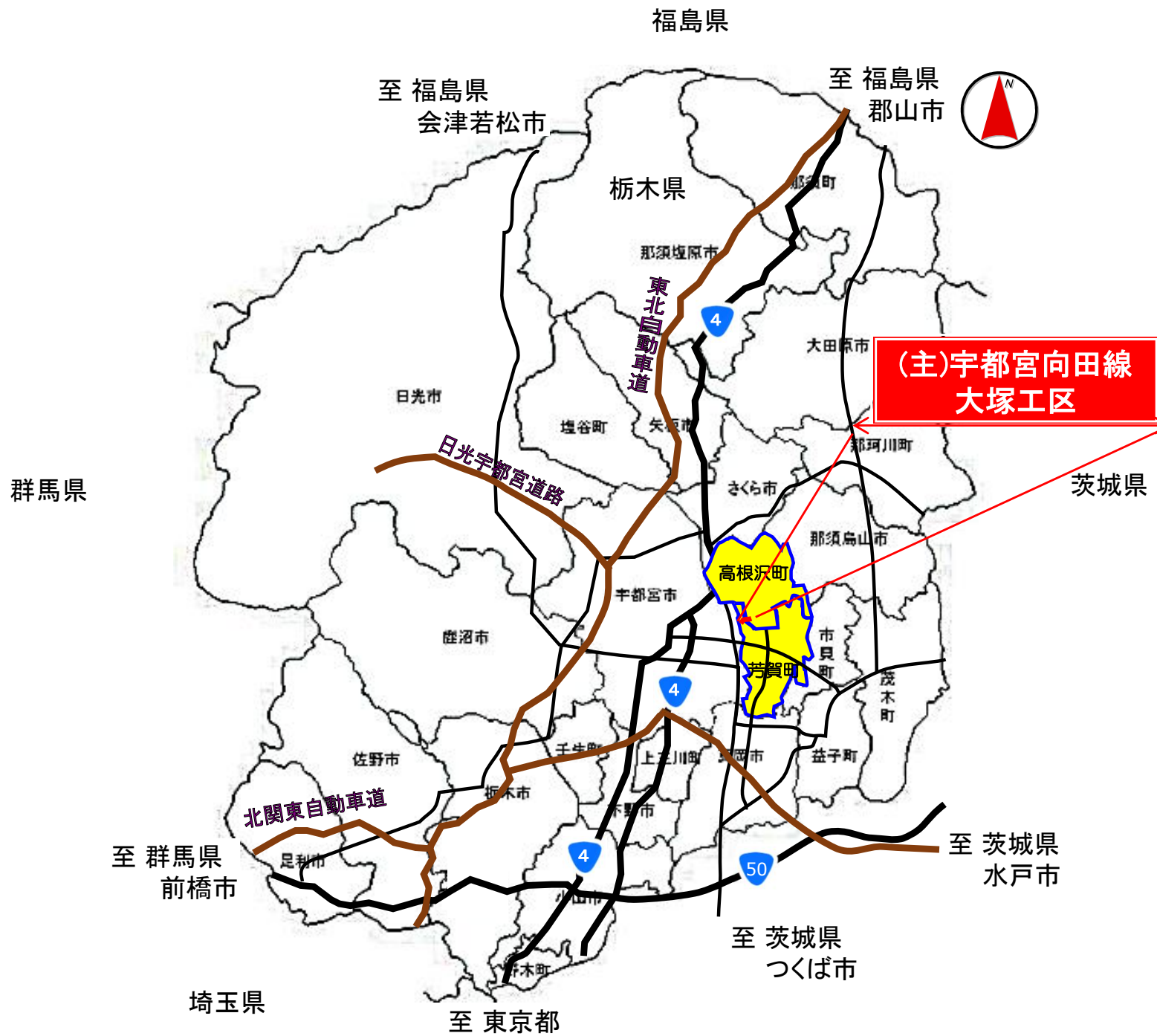
# 快適で安全な道づくり事業

うつのみやむかだ  
主要地方道 宇都宮向田線

はがまち                      たかねざわまち                      おおつか  
芳賀町・高根沢町      大塚工区

県土整備部道路整備課

# 1 位置図



## 2 事業概要①

- ・本路線は、宇都宮市を起点とし、県東部地域を結ぶ延長約35kmの幹線道路であり、鬼怒川左岸地域では、工業団地群を連絡し産業活動を支える上で重要な路線
- ・大塚工区は、隣接する平出板戸工区や整備中の国道408号バイパスと一体となって、鬼怒川左岸地域の新たなネットワークを構築し、交通の円滑化を図るためのバイパス道路



芳賀工業団地/芳賀・高根沢工業団地



清原工業団地





## 2 事業概要②

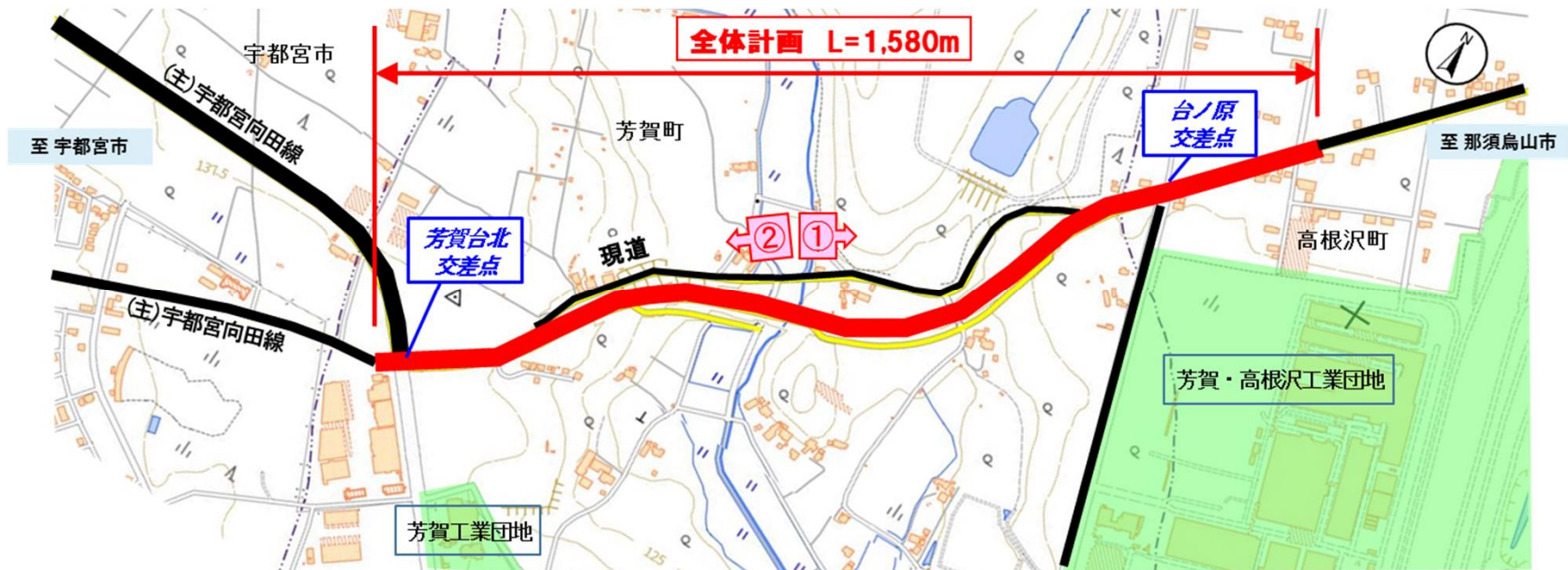
- ・現道は交通容量の不足により、朝夕の通勤時間帯には渋滞が発生し、通勤通学などの日常生活や産業活動に大きな支障をきたしていた。
- ・車道は屈曲し急勾配なため交通事故も多く、安全で安心な通行の確保が望まれていた。



■渋滞状況①



■渋滞状況②



## 2 事業概要③

事業名：快適で安全な道づくり事業  
事業主体：栃木県  
事業箇所：主要地方道 宇都宮向田線  
芳賀町・高根沢町 大塚工区

全体延長：L=1,580m

幅員：W=23.5m

(車道3.25m×4

自転車歩行者道3.5m×2)

総事業費：約32.4億円

事業期間：平成18年度～平成30年度  
(供用開始：平成31年3月)

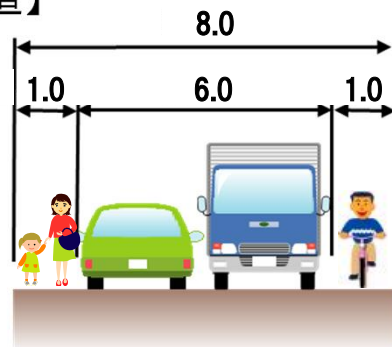
道路規格：第3種第2級

設計速度：60km/h

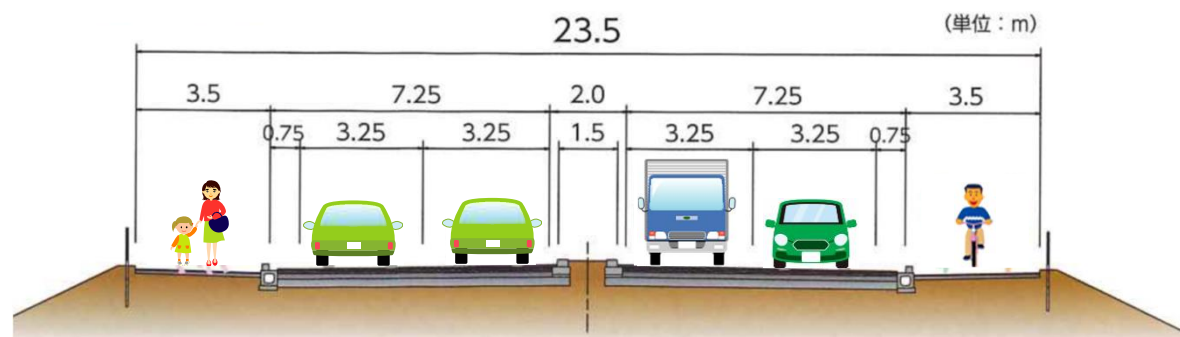


### 横断図

【現道】



【計画(一般部)】



# 3 事業の目的・必要性、効果検証方法

## 事業の目的・必要性

- (1) 交通渋滞の緩和
- (2) 安全・安心な通行の確保
- (3) 鬼怒川左岸地域の産業支援

## 効果検証方法

- (1) 交通量調査
  - 平成26年2月19日(水) 7:00~19:00
  - 調査内容 12時間交通量、渋滞長調査
  - 令和4年10月13日(木) 7:00~19:00
  - 調査内容 12時間交通量、渋滞長調査、旅行速度調査
- (2) アンケート調査
  - 令和4年10月
  - 調査対象者 沿線住民、公共施設、地域企業等
  - 587件 回収数503件(86%)



# 4 事業の整備効果等

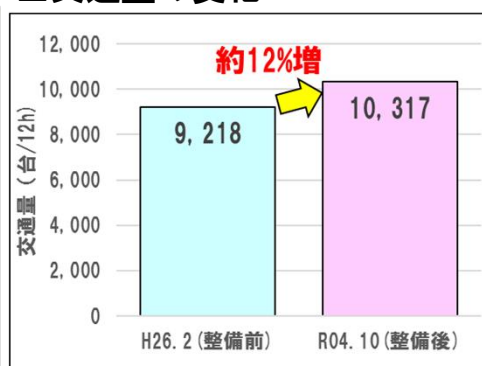
## (1) 交通渋滞の緩和

- ・台ノ原交差点における東進車線の最大渋滞長が約4割減少
- ・東進車線の混雑時旅行速度が10.4km/h向上
- ・救急救命活動において「宇都宮方面の病院へのアクセスが向上した」との回答

□台ノ原交差点 渋滞長の変化



□交通量の変化



□大塚工区(台ノ原交差点先頭)の東進渋滞状況



□高根沢消防署ヒアリング

上高根沢地内の救急救命活動において、宇都宮方面への病院にアクセスしやすくなった。

□大塚工区混雑時旅行速度

方 向	整備前(現道) 平成27年 (道路交通センサス)	整備後(バイパス) 令和4年 (真岡土木事務所調査)
東進 (芳賀台北 ⇒台ノ原東)	15.4km/h	10.4km/h向上 → 25.8km/h

□利用者アンケート(大塚工区を利用した日常生活に関する感想 ※複数回答可) : 各感想を回答した利用者の割合

- ・通勤(通学)が便利になった : 60%
- ・買い物が便利になった : 22%
- ・他の地域(宇都宮市街・茂木方面・那須烏山方面など)へ行きやすくなった : 21%
- ・医療機関(通院)へ行きやすくなった : 9%
- ・高速道路(真岡IC・宇都宮上三川IC)へ行きやすくなった : 8%

# 4 事業の整備効果等

## (2) 安全・安心な通行の確保

- ・大塚工区内の走行危険箇所(曲線半径R=150未満、縦断勾配5%超)が解消
- ・整備後4年間の平均交通事故発生件数が整備前4年間と比べて約1.5件/年減少
- ・約9割の利用者が「走行性や安全性が向上した」と回答

□整備前(旧道)(急カーブ・急こう配)

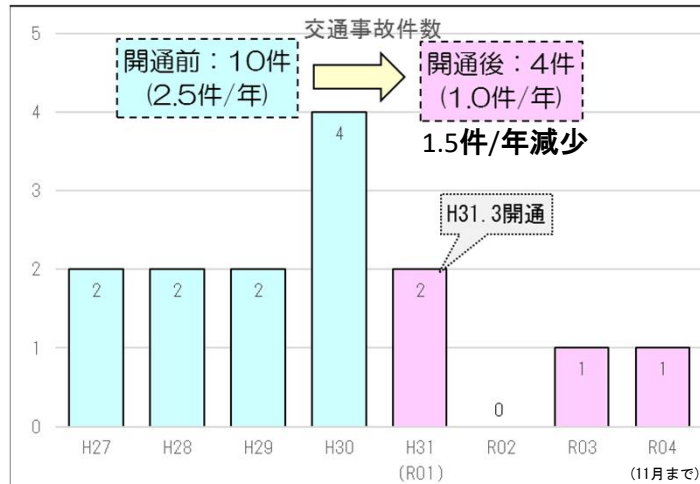


□走行危険箇所※の比較

走行危険箇所	整備前 (旧道)	整備後 (バイパス)
曲線半径 構造令R=150mを満足しない箇所	6箇所 (延長200m) (最小半径45m)	解消 (最小半径250m)
縦断勾配 構造令5%を満足しない箇所	3箇所 (延長300m) (最大5.8%)	解消 (最大5%)
自転車・歩行者 通行空間整備	430m	1,580m (全線)

※道路構造令の規定値を満たしていない箇所

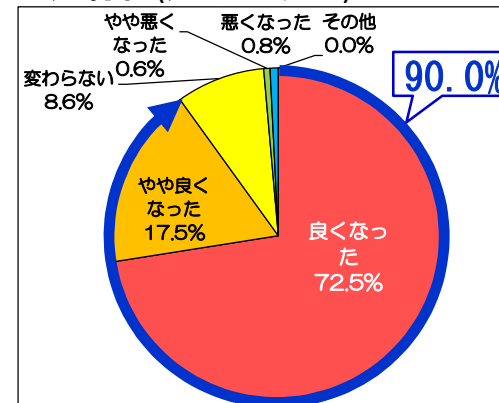
□交通事故発生件数の推移



出典：栃木県警ホームページ「交通事故発生状況マップ」

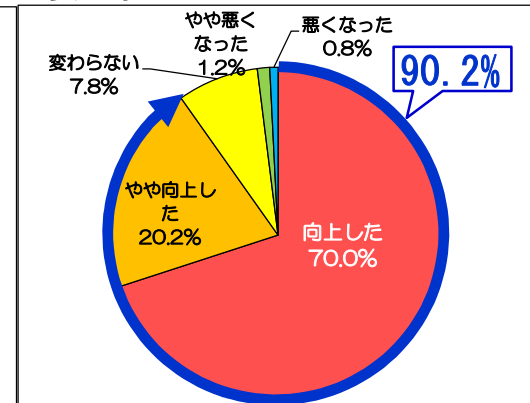
□利用者アンケート結果

### ・走行性(走りやすさ)



利用者の90.0%が、整備前と比べて、走行性が良くなったと感じている。

### ・安全性



利用者の90.2%が、整備前と比べて移動する際の安全性が向上したと感じている



# 4 事業の整備効果等

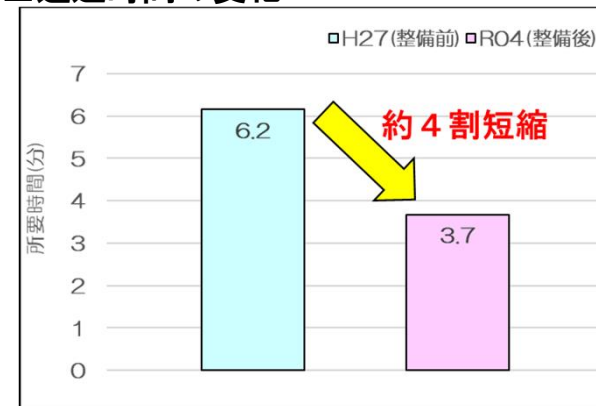
## (3) 鬼怒川左岸地域の産業支援

- ・大塚工区内の通過時間が約4割短縮し、通勤や物流等の交通の円滑化が図られた
- ・鬼怒川左岸地域2町(芳賀町、高根沢町)の製造品出荷額が約2倍に増加
- ・約7割の利用者が「工業団地周辺へのアクセス性が向上した」と回答

□整備前後のルート

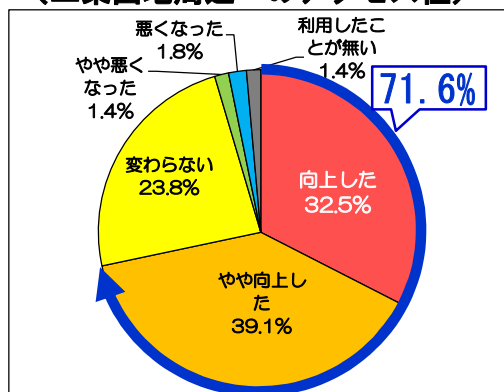


□通過時間の変化



出典: H27道路交通センサス、R4実測調査

□利用者アンケート  
(工業団地周辺へのアクセス性)



利用者の71.6%が、工業団地周辺へのアクセス性が向上したと感じている

□製造品出荷額(芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地)の合計額の変化



□工業団地内企業ヒアリング

・車線が増えたことにより、渋滞は緩和されアクセスがよくなった。また、歩行者と車両が分離され安全に通行できるようになった。

出典: 工業統計調査報告書(※H27は8統計調査年度の関係のためデータ無し)

## 5 大塚工区を利用した感想、自由意見

- ・自由意見では「安全で走りやすい道路になった」などの肯定的な意見の一方で、「板戸大橋の早期4車線化」、「信号現示や車線運用の改善」等の要望があった。

### <自由意見>

- ◇渋滞が減り、台ノ原交差点の通過時間が改善した。
- ◇安全な道路になり、走りやすくなった。
- ◆板戸大橋を4車線にして欲しい。
- ◆更なる渋滞を解消するための信号現示や車線運用の改善を望みます。

# 6 まとめ

## (1) 今後の事後評価の必要性

### 事業実施の効果

- ・台ノ原交差点での最大渋滞長が減少し、旅行速度が向上するなど、渋滞が緩和した。
- ・走行危険箇所の解消により、交通事故発生件数が減少した。
- ・通勤や物流等の円滑化により、鬼怒川左岸地域における製造品出荷額の増加に寄与した。

⇒ 今後の事後評価の必要性はないと考えている。

## (2) 改善措置の必要性

(アンケート調査の自由意見より)

- ・板戸大橋の早期4車線化の要望について  
⇒ 今年度、公共事業評価委員会の審議を経て、来年度からの事業着手が決定したことから、早期完成ができるよう事業推進に努める。
- ・更なる渋滞を解消するための信号現示や車線運用の改善の要望について  
⇒ 「信号現示や車線運用の改善」については、道路利用状況を踏まえながら、地元住民や工業団地企業、交通管理者と協議していく。



# 6 まとめ

## (3) 同種事業への反映

・本事業では、鬼怒川左岸地域の道路ネットワーク強化を効果的に進めるため、**隣接する平出板戸工区との供用時期を合わせる**ことにより、効率的に整備効果を発揮させることができた。

・また、本工区は産業団地の入口に接続し、交通が集中する区間であることから、**当初から完成4車線で整備**することで大きな整備効果が得られた。

⇒ 今後も同種事業を実施する際には、交通流を踏まえながら同一ネットワーク上の隣接工区と供用時期を合わせるとともに、事業区間毎の交通状況によって適切な整備手法を選択するなど、事業効果の最大化が図られるよう努める。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2415 FAX : 028-623-2417  
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>  
E-mail: [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)



**栃木県誕生150年**  
みんなで創る、未来のとちぎ